

表1 2018年度初期環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質 調査 番号	調査対象物質	水質(ng/L)		底質(ng/g-dry)		大気(ng/m <sup>3</sup> )	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	<i>o</i> -アセトキシ安息香酸 (別名:アスピリン)	nd 0/21	19				
[2]	<i>o</i> -アニシジン					nd 0/14	1.6
[3]	2-エチルヘキサノ酸 <sup>注4</sup>	nd~350 1/19	160				
[4]	2-エトキシ-1-([2'-(5-オキソ-4,5-ジヒドロ-1,2,4-オキサジアゾール-3-イル)ピフェニル-4-イル]メチル)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール-7-カルボン酸 (別名:アジルサルタン)	nd~24 17/18	0.037				
[5]	3-クロロ-5-[3'-(ジメチルアミノ)プロピル]-10,11-ジヒドロ-5 <i>H</i> -ジベンゾ[ <i>b,f</i> ]アゼピン (別名:クロミプラミン)	nd~1.5 8/16	0.020				
[6]	6-クロロ-7-スルファモイル-3,4-ジヒドロベンゾ[ <i>e</i> ][1,2,4]-2 <i>H</i> -チアジアジン=1,1-オキシド (別名:ヒドロクロロチアジド)	0.44~39 16/16	0.091				
[7]	1-(2-クロロトリチル)イミダゾール (別名:クロトリマゾール)	nd~0.48 11/16	0.043				
[8]	2-(4-{2-[(4-クロロベンゾイル)アミノ]エチル}フェノキシ)-2-メチルプロパン酸 (別名:ベザフィブラート)	nd~96 11/18	0.99				
[9]	サリチル酸及びその塩類 (サリチル酸ナトリウムとして)	nd~ 1400 14/20	50				
[10]	5 <i>H</i> -ジベンゾ[ <i>b,f</i> ]アゼピン-5-カルボキサミド (別名:カルバマゼピン)	0.11~54 16/16	0.021				
[11]	トリフルオロ酢酸					nd~120 8/13	24
[12]	1,3,7-トリメチル-1 <i>H</i> -プリン-2,6(3 <i>H</i> ,7 <i>H</i> )-ジオン (別名:カフェイン)	7.4~2,400 18/18	1.1				
[13]	2-ナフチルアミン					nd 0/14	0.85
[14]	<i>p-tert</i> -ブチル安息香酸	nd~210 16/18	18			nd~24 14/15	0.21
[15]	5-(プロピオチオ)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール-2-イルカルバミド酸メチル (別名:アルベンダゾール) 及びその代謝物						
	[15-1] 5-(プロピオチオ)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール-2-イルカルバミド酸メチル (別名:アルベンダゾール)	nd 0/18	1.1				
	[15-2] 5-(プロピルスルホニル)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール-2-イルアミン (別名:アルベンダゾール-2-アミノスルホン)	nd 0/18	10				
	[15-3] 5-(プロピルスルフィニル)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール-2-イルカルバミド酸メチル (別名:アルベンダゾールスルホキシド)	nd 0/18	6.8				
	[15-4] 5-(プロピルスルホニル)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール-2-イルカルバミド酸メチル (別名:アルベンダゾールスルホン)	nd 0/18	11				
[16]	2-( <i>m</i> -ベンゾイルフェニル)プロピオン酸 (別名:ケトプロフェン)	nd~50 12/17	0.055				
[17]	ベンゾ[ <i>a</i> ]ピレン	nd~4.5 9/23	0.086	2.7~5,100 20/20	0.19		

物質 調査 番号	調査対象物質	水質(ng/L)		底質(ng/g-dry)		大気(ng/m <sup>3</sup> )	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[18]	(E)-5-メトキシ-4'-(トリフルオロメチル)パレロフェノン=O-(2-アミノエチル)オキシム (別名：フルボキサミン)	nd 0/17	34				
[19]	2-メトキシ-5-メチルアニリン					nd 0/14	1.4

(注1) 検出頻度は検出地点数/調査地点数(測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。)を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

(注2) 範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd~となることがある。

(注3) は調査対象外の媒体であることを意味する。

(注4) 排出に関する情報を考慮した地点も含めて調査した。